

いわき市リサイクルプラザクリンピーの家について

1. 施設概要

リサイクルプラザクリンピーの家は、市内の家庭から排出される「資源ごみ」（かん類・ペットボトル、びん類、容器包装プラスチック）を再び資源として利用するための選別施設と、物の大切さや再利用の必要性など、3R（スリーアール：発生抑制、再使用、再生利用）に関する各種の啓発施設を備えた、本市のリサイクル処理施設の基幹的施設となっている。



施設名	いわき市リサイクルプラザクリンピーの家
所在地	いわき市渡辺町中釜戸字大石沢 24 番地の 1
建設期間	平成 8 年 6 月～平成 9 年 3 月 (容器包装プラスチック 平成 13 年 6 月～平成 14 年 3 月)
供用開始	平成 9 年 7 月 (容器包装プラスチック 平成 14 年 4 月)

2. 令和 5 年度の処理実績について

令和 5 年度のクリンピーの家への資源ごみの搬入量は 7,170t で、うち 94%の 6,781t が資源物として、容器包装リサイクル協会の指定事業者への引き渡しや市内の資源化事業者に売却することにより再資源化を行っている。

残りの 6%、389t については、かん類以外の金属類や小型家電、容器包装プラスチック以外のプラスチックなど、再資源化が困難なものや不適合物が選別されたものである。

再資源化が困難なものの中には、汚れの付着やたばこの吸い殻の混入などにより、本来、適切に分別されていれば再資源化が可能なごみが、不適合物となることが多くみられ、リサイクル率の向上に向けた、適正な分別の意識向上を図ることが課題である。

【クリンピーの家処理フロー（令和 5 年度実績）】

